

※この資料に記載された数値やコンセプト、図面、パースなどは、景観アドバイザーが開催された令和6年2月20日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。  
 ※この資料中のパース（CG画像）、図面、計画の考え方を示した模式図などの著作権はそれぞれ原作者が有しています。著作権法に特段の定めがある場合を除き、無断複製・転用等を禁じます。

札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業（設計段階）

1. 計画の概要

(1)計画概要（申出時）

申出者	札幌市中央区北4条西3丁目一番地 札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合理事長 株式会社 ヨドバシホールディングス 代表取締役 藤沢 昭和	行為の場所	札幌市中央区北4条西3丁目
		行為の種別	建築物の新築
		敷地面積	北棟：約 5,330㎡、南棟：約 5,330㎡
		延べ面積	北棟：約 75,330㎡、南棟：約 127,970㎡
設計者	東京都港区赤坂六丁目5番30号 鹿島建設株式会社一級建築士事務所 浅見 邦一	建築面積	北棟：約 4,800㎡、南棟：約 4,760㎡
		高さ	北棟：約 60m、南棟：約 165m
		主要用途	物販店舗、飲食店舗、事務所、集会場、駐車場

(2)位置図

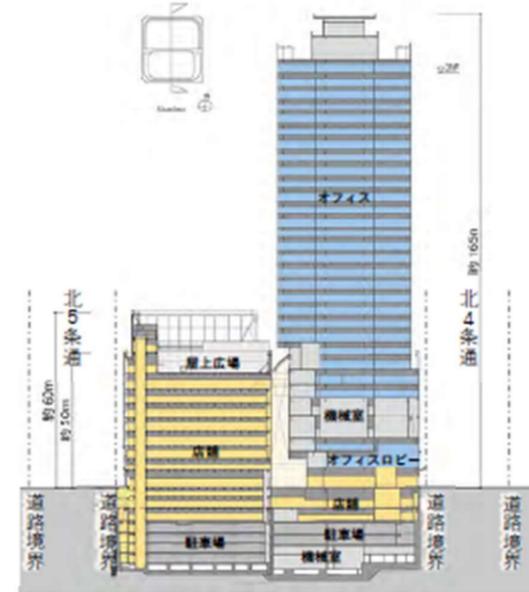


図1：断面構成



図2：パース（北西側より）



図3：パース（南西側より）

(2)中景の方針：駅前顔に相応しい空間形成と風格や賑わいが感じられる駅前通の街並み形成

- ①中景1 南口駅前広場と一体になり、風格のある駅前空間の形成
  - 1)広場周辺の一体感を演出する建物配置のデザイン構成
  - 2)駅前広場の正面となるファサードを形成する
  - 3)駅前広場の拡張
- ②中景2 札幌駅前通沿道建物と連続した風格や賑わいが感じられる街並み形成
  - 1)ストリートウォールを強調する基壇部の形成
  - 2)ヒューマンスケールなリズム感や賑わいが感じられる街並み形成



図4：駅前広場より

(3)近景の方針：周辺の賑わいや歩行者ネットワークを強化する地上・地下の歩行者空間の形成

- ①近景1 札幌駅地下街とチ・カ・ホの賑わいを連続させる地下鉄コンコース空間の形成
  - 1)地下鉄コンコースに面して店舗等を連続的に配置し、賑わいが感じられるコンコース空間を形成
  - 2)周辺の地下ネットワークを強化する地区内貫通通路の創出
- ②近景2 駅周辺における交通乗換利便性や立体的な回遊性を高める地上・地下のオープンスペースの創出
  - 1)地区内外の賑わいや歩行者ネットワークをつなぐガレリアの形成
  - 2)地下鉄ホーム・コンコースに面して開かれ、地上のガレリアに導く地下交通広場の形成
  - 3)賑わいと快適性が両立した沿道の歩行者空間(歩道沿空地)の形成
  - 4)エントランス空間を確保したコーナー部の形成
- ③近景3 緑化計画（地上部）
  - 1)四季折々の表情を体感できる植栽計画
- ④近景4 緑化計画（屋上部）
  - 1)建物内部から見渡すことができ、室内環境を向上させる屋上緑化計画
- (4)外観デザイン
  - ライトグレー系をベースとした落ち着いた色合いの色彩計画
- (5)広告・サインデザイン

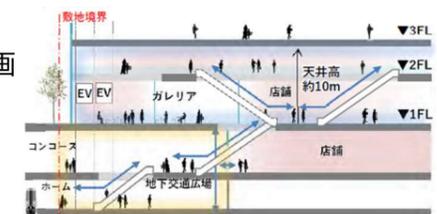


図5：ガレリアイメージ

2-1. 景観形成の目標

札幌駅交流拠点の一体性、札幌駅前通の連続性に配慮しながら、札幌駅の駅前街区にふさわしい交通結節性や賑わいを体現した景観を形成する。

2-2. 景観形成の方針

(1)遠景の方針：札幌駅の交通結節点としての拠点性を体現する都市景観の形成

- ①遠景1 札幌駅の拠点性を表す駅周辺建物群のスカイラインの形成
  - 1)駅周辺の拠点性や札幌の玄関口を象徴する札幌駅周辺の高層タワー群の形成
- ②遠景2 札幌の風景に溶け込み、持続可能でシンプルなデザイン
  - 1)気候や季節を映しこみ風景に溶け込むタワー
- ③遠景3 街並みの連続性を強調する中層部・タワーをシンボリックに演出する高層照明計画

※この資料に記載された数値やコンセプト、図面、パースなどは、景観アドバイザー協会が開催された令和6年2月20日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。  
※この資料中のパース（CG画像）、図面、計画の考え方を示した模式図などの著作権はそれぞれ原作者が有しています。著作権法に特段の定めがある場合を除き、無断複製・転用等を禁じます。

## 札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業（設計段階）

### 3. 景観アドバイザー協会における意見交換

#### (1) 景観アドバイザー協会の概要

実施回：令和5年度第3回景観アドバイザー協会

開催日：令和6年2月20日（火）

会場：札幌市役所本庁舎12階3号・4号・5号会議室

出席委員：岡本浩一部会長、小澤丈夫委員、窪田映子委員、千葉淑子委員、松田泰明委員

出席事業者：札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合  
鹿島建設株式会社一級建築士事務所

#### (2) 意見交換の概要

【窪田委員】 みどりについて、構想段階より多めに配置する計画となっており、みどりの骨格作りには貢献いただける形に改善されていると感じる。

みどりに加え、人の滞留などが合わさった景観が、駅前通りの賑わいとしてふさわしいと感じる。低層部の作り方とも関係してくるが、今後、より詳細の検討が進む中で、ただ連続的にみどりがあるだけではなく、滞留スペースや座れるベンチを配置するなど、アルコーブなども作りながら、人とみどりが合わさったような景観作りができるよう検討いただきたい。

【事業者】 本計画は4周道路に面している街区建築であり、北側においてはベンチや植栽等で滞留できる場を設けようと考えている。西側、南側は歩道が広いこともあり、植栽においても足元の植栽というよりは高木を中心に、移動できるベンチなどを置くようなことを考えており、東側については低木を含めて緑を多めに、北側はその中間的な位置付けという形で検討している。賑わいをどのように出していくか、詳細は今後検討していく。

【窪田委員】 特に南東側の角は、オープンスペースを広く取られており、作り方もそのような組み合わせが重要になると考える。今後の議論になると思われるが、みどりと人と、その背景も、セットで大切になってくると思うので、あまり見せたくないところについてはみどりの緑視効果が高いような植え方をし、中の賑わいを出すところについてはみどりを透かして中の雰囲気を感じさせるような配置をするなど、上手く組み合わせると良いのではないかと感じる。

植栽については、高木、低木を主に考えられているようだが、より彩りを考え、このパースの中にもある地被類なども検討され、四季折々で楽しめるように検討いただけると良いと思う。

【事業者】 ご助言いただいた方向性に合わせられるよう検討する。

【千葉委員】 1階はガラス面を多くしているが、ここの使い方が少し心配であり、特に北側店舗の広告が多くなることを危惧しているが、考えを伺いたい。

【事業者】 1階北側には、外側に顔を出す店舗を2か所配置している。その店舗の賑わいと、みどりの部分のベンチなどによる憩いの空間が一体化するよう考えている。エレベーターや階段が来てしまうところは内部を外側に見せることは出来ないが、ガラス面は連続させる。また、ガラス面に直接サイン等を貼ることはせず、後ろにある程度距離を取りバックパネルとして景観に配慮した形で掲出したい。ヨーロッパの街並み等ではショーウィンドウのような形で賑わいを出している事例もあるので、どうしても店舗の賑わいが出せないところについては、そのような事例を参考に対応

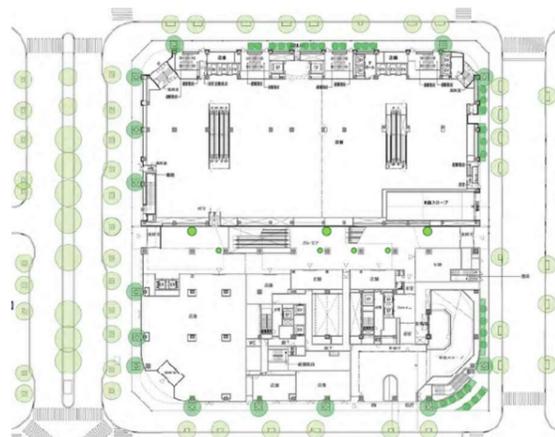


図6：緑化計画



図7：北側低層部

していきたいと考えている。

【松田委員】 まちとのつながりの実現に最も重要な1階北側外壁が、エレベーター等の関係で壁面が相当出てきている。賑わいを外に出させるということが設計のコンセプトで記載されており、また地区計画でも書かれている中で、壁が多くなることは非常に残念（ビルやテナントにとっても、人の流れを取り込みにくくなるのでは）。賑わいの創出に欠かせない「見る、見られるの関係」ができず、街とのバリアを作ってしまうため、少しでも中との繋がりを感じられるような設計を引き続き検討していただきたい。また、どうしても壁になる部分については、例えば照明等（緑も含む）を活用し、壁があるという感じにならないようにするなど工夫していただきたい。

みどりの話については、管理が非常に重要だと思う。北海道の場合、特に冬は管理状態が非常に難しく、管理組合の方がどのように管理していくか非常に重要であり、みどりがみずばらしい、あるいは管理されていない状態になると、ビルのブランド力も落ちると思う。管理組合、もしくは事業者さんになるかと思うが、きちんと管理をしていただきたい。

【事業者】 管理もしっかりと考えていきたい。

【小澤委員】 先ほどガラス面のところで、ヨーロッパの街並み等も参考にと説明していただいたが、店舗に対し、運営、サイン、照明等について煩雑にならないよう、デザインガイドラインを作るような考えはあるか。

【事業者】 事業者から説明させていただく。今までのビル同様に、テナントさんを誘致する際に、設計指針、またデザインクリテリアというものを作り、全体の統一感を出すため、内装管理室という部署を作り、テナントさんの設計図書が出たときにバランスが取れているか審査をした上で図面承認を出すというルールを作る。また、当初の出店のときだけルールを守り、その後ルール外のことをしないよう、管理規則でしっかりと縛り、出せるもの出せないものを決め、ビル側が管理していくことを、管理組合で決めたいと考えている。

【小澤委員】 店舗側も最初にきちんと立ち上げていただき、入居条件として理解した上で入居するような協力関係をぜひ築いていただきたい。早い時期に、そのようなガイドライン、規則というものをお作りいただきたい。

【千葉委員】 北側外壁の意匠（格子）について、他店舗の外観を踏まえると、この設えを外観の意匠として扱うことに納得できていない。もし、外壁の意匠だと整理するのであれば、札幌市には色彩景観基準があり、札幌の景観色70色に準じた色にする、調和をさせる、アクセントカラーであれば低層階、3階以内などの決まりに抵触しないように十分配慮していただきたいと思う。

また、計画書の中に、世界で稀にみる積雪量の多い札幌市に配慮した雪の対策をしていると書かれているが、採用予定の意匠について雪対策が大丈夫なのか安全面で心配な部分がある。そのあたりの配慮はされているのか。

懸垂幕について計画書の中には協議中と書かれているが、現段階でどのようなお考えなのかお伺いしたい。

【事業者】 雪対策について、一つは壁面につく雪、もう一つは頂部に乗り溜まる雪が考えられる。まずはその頂部に乗り溜まる雪について、それが落下したときが非常に危険と考えており、他のビルでの経験を元に、勾配をつけて内側に落ちていくような対応をしようと考えている。壁面につく雪については、コンサル会社に協力いただき、最近の札幌近郊の建物の対応策や、実際に対応しきれたかどうかをヒアリングし、その結果を反映した外壁、設えにしようと考えている。雪の降らない地域の建物とは仕様を変えざるを得ないかどうかも含め検討中である。

次に、外装について、札幌市の屋外広告物条例は非常に厳しく、本計画敷地では各面に対し50㎡までの面積で、これには懸垂幕の面積も含めるということは把握しており、そこは守りながらも、商業施設としてのアイデンティティをどう出していくか、どちらも並走させながら、最後は落としどころを見つけようと、少し時間はかかっているが、現在も検討中である。景観、及び屋外広告物条例は十分順守した上で、今後も検討していきたい。

【窪田委員】 南棟の南東側の角、辻の部分について、開口を大きく取る形とのことだが、南東角は地下の入口や駐車場の入口等がある関係で、メインの入口のような設えにはなっていないと思う。緑地は大き

※この資料に記載された数値やコンセプト、図面、パースなどは、景観アドバイザー協会が開催された令和6年2月20日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。  
※この資料中のパース（CG画像）、図面、計画の考え方を示した模式図などの著作権はそれぞれ原作者が有しています。著作権法に特段の定めがある場合を除き、無断複製・転用等を禁じます。

## 札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業（設計段階）

くとられているが、もう少し低層部の作りとして、何か工夫できるのではないかと感じる。人の目線からは、入口周りの壁面部分はかなり大きく威圧的な感じがするので、みどりの作り方と、壁面に表情をつけると良いのではないかと感じている。

【事業者】 特に1階周りについては、考え方やコンセプトが先導して、細かな気配りが行き届いてない部分があるが、素材やみどり等の解決方法についても、先ほどのメンテナンスという課題とも重なるため、総合的に今後丁寧に検討していきたい。

【松田委員】 先ほどの説明の中では、歩行者への影響が大きい駐車場の入口について再検討されたものが出ており、当初のパースより非常に良いものになったように感じるが、内部の照明も含めより良いものになるよう検討を深めていくということでもよろしいか。

【事業者】 パースの表現が悪く、奥まで見えていない等あったが、当初からそのつもりで考えていた。ビルとしても、車寄せということで非常に重要な部分であり、雰囲気やビルとしての低層部の顔ということも意識し、特に意匠に気を付けながら、歩行者の方の快適性、安全性、これらも総合的に検討していきたいと考えている。

【松田委員】 ホテルの例では、非常に良い事例もあり、設計者としても色々な事例をご存知と思うので、開口部が広く、歩行者に対する圧迫感やバックヤード感が少なく、昼と夜にそれぞれどのように見えるかも含め十分ご検討いただきたい。

【事業者】 1階周りについては、今後丁寧に検討していく。

【千葉委員】 ガレリアの室内は、今日見せていただいたパースが、提出資料と比較してとても良く改善されており、わくわくするような感じになった。市民が楽しめるような空間が演出できるのではないかと期待する。環境デザインは、最近重要になっているため、ぜひ積極的に取り入れていただきたい。また、出来ればもう少しアートを意識的に取り入れていただき、地元の作家を起用する等、公共に対するプレゼンテーションも加味していただきたいと感じる。文化交流としてぜひお願いしたい。

【窪田委員】 ガレリアの光環境については、床に落ちるだけでなく、壁面に当たる光もうまくデザインしていくということで、なるほどと感じた。壁に映る光も、おそらく壁の素材の選び方で陰影ができる等、演出が出来るのではないかと感じる。特にここは、昔の五番館の中通りであり、昔からいる札幌市民としてはとても印象深い場所でもあるため、何かそのような雰囲気が作れるのではないかと感じた。イベントを行っている様子のパースも入れていただいたが、ここは地下鉄のコンコースやホームから人が上がってくる場所であり、混雑時間帯のことを想像すると、相当な数の人が上って来るなど、時間帯でも状況が違ふと考えられるため、パースのような雰囲気を作るには、今後そのようなところの整理も必要ではないかと感じる。ガレリアに面する店舗が、うまく店舗の空間等も使いながら、イベントや賑わいのような雰囲気を作れると、人の流れと共存していけるのではないかと感じた。今後引き続き検討いただきたい。

また、今まであまり話題に上がっていなかったが、オープンスペースという意味合いで、屋上広場というものがあるが、そこはオープンに使うような場所として想定されているのか。

【事業者】 最上階にどう人を行かせるか、今は積極的に行く計画にはなっていないが、今後、出来る範囲でうまく活用し、使えるようなことは、考えていけたらと考えている。

【窪田委員】 都心部の貴重なオープンスペースのため、うまく市民に開かれると良いと思うので、ぜひお願いしたい。

【松田委員】 ガレリアについて、幅が8mしかないため、使われ方をイメージしたときに、通行帯にかなりのスペースを取られてしまうと考えられる。パースでは全体が広場として使われるようなイメージだが、実際は歩く方がかなりいるため、そのような状況の中でどのように使われるかということも想定しながら、設計をしていただきたい。

また、ガレリア上部の圧迫感について、構想段階のときにも解放感がもう少し欲しいという助言がなされている。構造的な問題もあるかと思うが、中間階のところについては、下の階に与える圧迫感をなるべく軽減するような細部の調整、検討を引き続きお願いしたい。

【事業者】 ガレリアの幅は約8mだが、風環境を考え、風除室の入り方をL型とすることで、あまり人が通らない溜まりの空間を作れると考えており、歩行空間と溜まり部分の分離についても考えた上で検討

している。

圧迫感というところについては引き続き検討させていただきたい。

【小澤委員】 ガレリアについて、先ほど大壁面を使った企画と説明があったが、具体的にはどのようなお考えか。

【事業者】 今までは2階が回遊空間になってはいなかったが、回遊空間を設け、一部下がりのようなところを作り座りながら、例えばエスコンフィールドでの試合を壁面に映し出し、それを見て応援できるようなことも検討している。先ほど8mの幅は平面的に少し狭いのではないかという話があったが、2階も含めた上下階の賑わい空間というように、考え方を平面的なものから立体的なものへと置き換えて検討していきたいと考えている。せっかくの大きな壁面があるため、積極的に活用していきたい。

【小澤委員】 今日の資料を見せていただく前は、商業的なアピールが目立つようなアトリウム空間になるのかと想像していたが、このイメージを拝見する限り、市民のための居場所としてお考えいただいているという理解でよろしいか。

【事業者】 見解の通り。ガレリアに人が集まり、そこから商業施設に入っていくということが一番理想的な姿と考える。

【小澤委員】 札幌の都市空間の場合、冬季の市民の居場所はとても大事なテーマだと思う。賑わいについては単に視覚的なものというだけではなく、サウンドスケープの視点も重要であると考えており、イベントがあるときは色々な音が競い合うような感じになると落ち着かなくなるため、イベントの音が聞きやすい状況が好ましい。また、明るさや内装、イベントの質、人が溜まる場所流れるところ等総合的に考えていただき、良い設計、良い管理をしていただきたい。市民の居場所を作って欲しいということが願いであり、ぜひそのような方向に持って行っていただきたいと思う。

【岡本委員】 今の話で少し気になったが、画面が投影だと思うが、イベント等がないときに何か広告みたいなものを映してしまうのか、ないときは消して空間の一体性やゆとり感を演出するような形になるのか、この場所は機材があるからつけておいて何か別の情報を流し続けるというような空間ではないと考えており、コンテンツの質や、管理等もとても重要になってくると思う。「市民の」と言って下さったからには、商業的視点ではなく、市民にどのように楽しんでいただけるか、過ごしていただけるかというところに注目したコンテンツ選びをしていただきたいと思う。

【事業者】 検討するようにしたい。

【岡本委員】 北側に関して、駅に向いている棟の外観や全体の様子、夜景やその他について、札幌駅の駅前として様々な人が訪れる、日本だけでなく全世界の人たちが降り立つ場としての駅前広場の一角を形成するという、非常に社会的な役割も大きい敷地であることは否めないと思う。札幌の今後の50年100年の成長に、どう影響するかということさえ担っているところであり、とても重要な景観の切り口も含まれていると考える。

社会的インパクトが非常に強い場所であり、建物の外観について、もうほぼ決まりで動かさないとのお話もあったが、駅前広場全体で考えると、駅のビルの方は、人の流れが上下で見えるガラスの吹き抜け空間があり、壁があり、また吹き抜け空間があるという流れで構成されており、今、新たな新幹線エリアの北5西1・2地区には大きなガラスのボックスのようなものが駅前広場側に出てくるという計画図になっている中で、今回の計画は閉じてしまっているように見えるため、中の賑わいが上層の方でも感じられたらというのが正直なところ。もう決まってしまっているという中でも、可能な範囲で検討したいというお言葉をいただいているので、具体的に、ぜひその可能な範囲というものを広げていただきたい。

自分の経験としては、客としてカメラ屋さんに行くと、レンズがお店の中しか覗けないため、売



図9：駅前広場より

※この資料に記載された数値やコンセプト、図面、パースなどは、景観アドバイス部会が開催された令和6年2月20日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。  
※この資料中のパース（CG画像）、図面、計画の考え方を示した模式図などの著作権はそれぞれ原作者が有しています。著作権法に特段の定めがある場合を除き、無断複製・転用等を禁じます。

## 札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業（設計段階）

り場で外を見ることができないかと思っており、望遠の効き具合や、どのように絵面が変わるのか、実際に試して確認をすることで商品評価への影響も働くのではないかと思う。キャンプ用品等も、外の様子を背景にして見ると、店舗内で見るのとは、全然空気が違うので、外を背景にして見ることができる空間があると、購入したときの使用感を感じることができるのではないかと思う。その様子を外側から、駅前広場側から見ると、商品を楽しもうとしているところが見えていいなと思うし、実際に試せるというところの意味はとても大きいと思っており、そのようなことも踏まえると、積極的に外部に開いた部分を作っていただけると嬉しいと感じる。前向きに検討していただきたいという思いをお伝えする。

【松田委員】 今回コンセプトでも街との繋がり、賑わいの創出を目指すとの説明はあったが、どこかの階だけでも良いので、見る、見られる関係ができるような、広場と一体となるような計画をお願いしたい。構想段階でも、ここで事業を行うことの誇りと責任を持っていただきたいと強くお願いしてきたところ、それは十分意識してそのような気持ちで臨みますというお話をいただいている中で、もしよければ、事業者さん、または組合の方にその辺りの思いをお話していただきたい。

【事業者】 お話しを色々いただいたが、我々組合の方も、各建て替えを検討しているビルが次々断念しストップしている中で、唯一ここがスタートしていくわけですから、益々大事なエリアになっていく、大事な建物になっていくということは十分認識している。また、今回鹿島建設さんはこのような高層ビル、また商業ビルも経験されているスタッフが十分揃っており、地下と1階と、また外周りの賑わいの連続性というところは、ずいぶん議論してプランを描いているところ。しかしながら、設計のデザイン等深いところとなると、なかなかお互いに歩み寄れないところもあると思いますが、お客様が歩いている直近のアイレベルのところ、今、ご指摘があったように、1階2階のレベルはすっきりとしたデザインで、街と一体になったような形でデザインしていくべきと考えている。

先ほどご指摘もありました、車寄せのところ、1階周りの2mセットバックしたところと歩道の一体空間のデザイン等はまだまだ設計出来ていないため、みどりや広場イメージ、またエリマネという話も出ているので、街との一体性というところは、事業者として、これから組合の中で話し合いをしながら進めていきたいと思う。大変貴重なご意見ありがとうございます。

【窪田委員】 今回は1階だけで賑わいを表出する計画だが、1階レベルだと色々な工作物が駅前広場にもあり、広場からは見えにくいので、もし2階レベルでも表出できるのであれば、効果は大きいと考えられるため、ぜひお願いしたい。

【小澤委員】 先ほどの説明の中でも、「札幌駅玄関口の顔作り」、「風格があり統一感のあるデザイン」に触れられており、駅前通北街区（景観計画重点区域）の目標像としても「品格」という言葉を使っており、やはりこの「風格・品格」は非常にこの場所で大事であると、市民にも共有されつつあるものではないかと思う。

わかりやすい例で言うと、南に行くとするすきのもあるが、すすきのもある意味札幌の顔と言える。ただ、札幌駅前の広場、あるいは札幌駅前の通りは、すすきのは全く違う性格を持っており、札幌に来て最初の玄関口で、非常に堂々とした落ち着きがある人口190万都市の顔になるということ、割と大きく60mの軒の高さの制限もあるが、大きな建築的なジェスチャーが、シンプルに落ち着いた材料で作られており、それが大通までずっと街並みを作っている。あまり大きなスケールと小さなスケールがごちゃごちゃしないということが非常に大事かと思う。すすきのでは色々なスケールのものや色が賑やかであることで、都市の活気が出てくるが、札幌駅前ではそれを抑えることにより、非常に風格、品格が出てくるのではないかと、これは非常に大事な景観上のポイントだと思っている。

そのときに、やはり気になるのはコーナーの格子のところ。大きな壁面に対して非常にスケールが小さく、大きなスケールに小さなスケールをつけたようになってしまい、この辺りがもう少し大きく雄大というか、スケールの大きな落ち着いた振る舞いというものがないものかを感じる。大きな壁面に小さなパーツがつくということは、非常に品格風格ということに対してマイナスに動いているのではないかと拝見するが、この辺りのお考えはいかがか。

【事業者】 格子のフレームについて、これはまだ組合とも煮詰めることができず、例えば高さであると

か、どれだけのエリアを覆うかであるとか、大きな壁面に対して小ぶりすぎて、ちまちまとしているのではないかというような印象を持たれているのではないかと思う。その辺りのプロポーションや設えは、今後の課題であると組合とも話し合っており、まずは平面計画をやりきったところなので、今後検討していきたい。

小澤委員の「風格・品格」の説明は、非常によく理解できる。今考えていることとしては、駅前広場に正対している低層部が、一体のボリュームとして札幌駅前通へと繋がっていくという、空間の流れというか、視線の流れというものも意識しながら、駅前通りに回ると、ガレリアを挟んで北側の大ボリューム感からスケールダウンしながら駅前通りの商業的な賑わいへ風格を損なうことなく流れていくような、その辺りのバランスの中で、角の格子の部分等も検討していきたいと思う。

【小澤委員】 デザインはあくまでも総合的なものであり、この大きな壁面に対して格子のスケールがという話をしたが、格子の大きさを変えれば良いというだけではないので、そこは誤解のないようにしていただきたい。札幌駅前通では最近新しいビルが建ってきたが、比較的シンプルな作り方をしており、大きな立面をきちんとデザインして作っている。古い建物は一部そうではない（シンプルではない）ものもあるが、時間をかけて置き換わっていき、札幌駅前通が非常にシンプルかつ風格、品格のあるようなものになってくると考える。これまで取り組んでこられた方々の気持ちを汲み取り、全体を見渡していただいて、今回の敷地は、特に一番コーナーストーンとなる大事なところですので、そこでどうあるべきかということ、ぜひ総合的に考えていただきたいと思う。細かい指摘だけを気にされるのではなく、大きな視点でしっかりとデザインしていただきたい。

【岡本委員】 建物の個性、デザインの個性が、他の街にも非常に似たものがあるなど感じてしまっており、北の大地に降り立って、他の街でも見たことがあるようなデザインに落ち着いてしまっているところを、北海道で札幌駅に降り立ち、南口に来た皆さんがどのように受け止められるのか、正直なところ不安ではある。とてもシンボリックで個性の強い建物だと思うので、別の都市でもそのシンボル性を継承されており、その建物のシンボル性を継承していくという考え方もあるが、場所も重要であり、訪れた方々に札幌に来たと感じて欲しいと思うため、そこにシンボルの強さが被ってくるところを、今一度、考えていただける部分があるのであれば、コメントいただきたい。

【事業者】 他の都市の店舗という話もあったが、例えば他の都市では上層部について、言い方が悪いが安価な外壁材、石目調の吹き付けを使った例もあるが、今回は全面石張りと考えている。また、低層部のアーチについては、北海道市民は五番館が取り壊されてとても残念であったと、そのアーチの歴史記憶の継承という意味では、低層回りに関して札幌らしさを表出できているのではないかと考えている。

上の方のやや拒絶のデザインとお話しがあったところは、もう少し検討していかなくてはならないと感じているが、趣旨はよく理解している。

【岡本委員】 札幌に行く、札幌に来たと思って欲しい。それを担う、他にないインパクトを持つ重要な敷地です、ご検討いただきたい。

【松田委員】 ヘリポートの下のところのデザインについて、ここはそれほど見えないところではないかもしれないが、単調にならないように検討していただきたい。向かいのJRタワーもあるため、丁寧にデザインしていただきたい。

【事業者】 デザインについても丁寧に検討していきたいと思う。